



今こそ医師としての使命と責任を

※撮影にあたり一時的にマスクを外しています。

新型コロナウイルス感染症 (ワクチン接種について)

全ての国民へのワクチン接種には地域医師会の協力が不可欠

2月17日から新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が医療者からはじまっており、先行接種1回目の医療従事者4万人(2回目以降医療従事者約370万人)その後高齢者から基礎疾患を持つ方という順序で接種が計画されております。一方で新しいワクチンという事もあり副反応を心配する国民の声や医療者からはワクチンの情報の少なさや確保等を危惧する声もあります。接種もはじまったばかりで徐々に情報は増えるのだと思いますが、大臣におかれましては情報公開に大変気を遣われているのではないのでしょうか。また医療現場の第一線におられる須藤会長にはワクチンへの期待と不安の声、そして何より接種を希望する国民全員への接種を行う大変さ、行政を初めとする各界との調整に追われていると思います。

今回、国民への接種に関しては、医師・医療者が総力を挙げ、地域の医師会が先頭に立って進めなければ到底なし得ないと感じています。国民の徹底した感染予防対策とワクチン接種の両輪が新型コロナウイルス感染症の流行は、年明けすぐの1月8日に首都圏で緊急事態宣言が発令され、14日からは11都府県に拡大されるなど、全国的に厳しい情勢が続いております。医療現場を守る先生方に心から感謝申し上げます。

田村厚生労働大臣

が新型コロナウイルスワクチン感染症封じ込めの一手になると期待しております。



田村憲久厚生労働大臣、
須藤英仁群馬県医師会会長と
羽生田俊による鼎談

羽生田

テーマ
1

ごあいさつ

平素より私の政治活動にご理解とご協力を頂いておりますことに御礼申し上げます。また、コロナ禍において懸命に地域医療をお支え頂いておりますことに心より敬意を表し、感謝申し上げます。

医療従事者からコロナウイルスのワクチン接種がスタートしました。希望する全ての国民へ接種を行う大きな取組みであり、同時に感染対策の徹底を行うことがコロナを封じ込める大きな一手と期待されています。

ワクチン接種を円滑に行う為には地域医療を担う医師会の力が不可欠であります。ワクチン数量の確保を含め不確定要素が多く、見通しが難しい状況であります。

この一年間コロナ対応でご苦労されてこられた先生方に更なるご負担をかける事になってしまいますが、これを医師の使命と捉えご自分の診療のほんの一部をワクチン接種に割いて頂ければ大多数の国民へのワクチン接種が進む事になります。是非先生方のお力をお貸し下さいますよう改めてお願い申し上げます。

参議院議員

羽生田 俊



超党派「成育基本法推進議員連盟」総会にて



超党派「医療基本法議員連盟」役員会を開催



東京都医師会「地区医師会長連絡協議会」にて挨拶



医師の働き方及びタスクシェア・タスクシフトのあり方に関するPTにて挨拶

羽生田たかしの活動フォト

すべての人に
やさしい 医療介護 を



医療と地域の明日を考える会第2回勉強会にて



参議院議員自見はなこ「次世代の医療政策を考える会」にて挨拶



政調・社会保障制度調査会医療委員会にて「医師の働き方改革推進についての提言」を報告



政調・人生100年時代戦略本部にて

自見はなこ議員 日本医師連盟より推薦をいただきました。



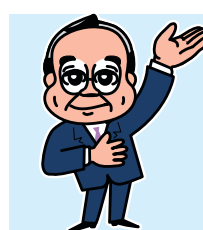
参議院議員／医師
自見 はなこ

いつも大変お世話になっております。昨年から続く新型コロナウイルス感染症の流行は、年明けすぐの1月8日に首都圏で緊急事態宣言が発令され、14日からは11都府県に拡大されるなど、全国的に厳しい情勢が続いております。医療現場を守る先生方に心から感謝申し上げます。

1月18日、第204回国会が開会しました。今国会では、医療機関への財政的な支援を盛り込んだ令和2年度第3次補正予算ならびに令和3年度当初予算をはじめ、新型インフルエンザ等対策特別措置法(特措法)や、感染症法、検疫法など重要な法律の改正についても審議されます。羽生田先生とともに、現場の声を反映した施策の実現に向け、緊張感をもって国会審議に臨みます。

法整備と併せて、新型コロナウイルスのワクチン接種体制の整備も喫緊の課題です。短期間に全国で接種することや、超低温でのワクチン管理が求められることなどから複雑かつ緻密なオペレーションが必要になります。ワクチンの供給状況、接種状況、副反応の発生や健康状態などを把握する情報システムの構築も含め、国民の皆様が適切にワクチン接種を受けられるよう、取り組んで参ります。

また、2018年12月に超党派議員連盟(会長:河村建夫衆議院議員、会長代行:羽生田俊参議院議員、事務局長:自見はなこ)で議員立法を成立させた成育基本法に基づき、成育医療等基本方針が年度内に閣議決定予定です。子ども達を真ん中に置いた社会に向けて、いよいよ具体的な施策が動き出します。行政の縦割りを解消して、子どもの医療・保健・教育・療育・福祉を一元的に所管する「子ども家庭庁」創設に向けた国会議員の勉強会も2月からスタートさせました。これからも全力で頑張ります。一層のご指導ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。



羽生田たかし 国会事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館319号室
TEL:03-6550-0319 FAX:03-6551-0319

羽生田たかし 群馬事務所

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町2-10-13
TEL:027-289-8680 FAX:027-289-8681

羽生田たかしオフィシャルサイト

<https://www.hanyuda-t.jp/>

Facebook: 羽生田たかし

Twitter: 公式アカウント @hanyuda_takashi

メール: mail@takashi-hanyuda.com

WEB通信配信中!!
アドレス登録はこちらから



群馬県医師会会長
須藤 英仁 医師
日本医師会医師の働き方改革検討委員会委員長

一方、医療従事者の皆様へは地域の実情にあった形で集団・個別接種にかかわらず希望する全ての国民へ接種が届くべく地域にあった形で検討にご協力頂いていることに感謝を申し上げます。医師・看護師の手配を含め広報や会場予約・事務作業に医師会をはじめとする各種団体、地方行政とご苦勞をおかけしていると思います。

国もワクチンに関わる情報をいち早く届け、またそのワクチン確保に全力で取り組んでいます。この大きな希望を届けられるようご協力をお願いしたいと思っております。

「時短計画案」の作成や計画に基づく取り組みを開始することを心配する声がある事も承知しており、新型コロナウイルス感染症に対応する医療機関の現在の負荷にも配慮し、2024年4月までの間、時短計画案の作成と計画に基づく取組について、一律に義務付けるのではなく、努力義務とすることとしており、先行して取り組む医療機関を技術的・財政的に支援するなど、取り組み可能な医療機関から取り組んでいただけるような柔軟な運用をしてまいります。やはり医療機関の現場の声が一番であり、地域医療を守る形での運用に努めて参りますので、まずは自己点検し現状把握をして頂

きたいと考えます。そして、羽生田先生には、自由民主党医療委員会「医師の働き方及びタスクシェア・タスクシフトのあり方に関するPT」の座長としてご指導いただいておりますように、様々な医療専門職種が活躍できる環境を整えること、それが非常に重要であると存じます。

また、現場ではコロナ禍にあり、コロナ対応病院もコロナ以外の診療を行う診療所・病院でも今までは違う感染予防対策を講じた上で対応をされており、大変な労力と努力を行っております。目の前の対応に追われ時間短縮などまだまだとても考えられる状態にないのが現実です。特に医療経営では減収であり厳しい経営状態にあり、通常の給与を賄うこと、賞与の段取りが付かない等さまざまな困難があり、その中で時間短縮や更なる人材を獲得し体制を整える事など考えにくいと感じております。

医師の働き方改革、それに伴う医師の健康管理は避けては通れないもの

と理解しております。しかし、実際の現場の声としては、とても現在点検や実態把握ができる状況にない上、タスクシフトやタスクシェアなどの議論もむずかしく、研修も含め、医療従事者の確保もギリギリでとても理解を得られ取り組める状態にない事はご理解頂ければと思います。

「医師の健康の確保」と「地域医療の継続性」の両立は絶対的条件ですし、協力も努力も惜しみませんが、今の段階で期限だからというのだけでは地域医療は守れない所まできています。ご理解頂ければと考えます。

羽生田



まさに医療現場、医療従事者は患者を守りたいという気持ちで日夜業務に動しんでおります。また大臣の言われた医療安全の為に医師の健康が欠かせない事も理解出来ます。

しかしながら須藤会長が言われたように、結論ありき、期限ありきで現場への配慮もなく上限時間規制を導入すれば地域医療が持たないことは火を見るより明らかです。

私が座長を務める自民党医師の働き方改革PTで中間取り纏めをし、その中に「新型コロナウイルス感染症の影響により、



参議院議員
羽生田 俊 医師
自民党 医師の働き方PT座長

私も群馬県医師会としても国民・県民への接種が行き渡るよう行政と

須藤群馬県医師会会長

も連携を密にしているところであります。しかしながらワクチン供給が不透明であり入荷状況が分からなければ接種の計画が立てにくい状況や、地域性という言葉がありました。群馬では、かかりつけ医による個別接種が効果的だと感じています。地域医師会員が一丸となり希望する県民への接種を成し遂げたいと思います。

厚生省におかれてはワクチン配布を含め集団接種より個別接種が効果的な地域への支援体制もお願い出来ればと思っております。

「ディープフリーザーからの配送の問題や、医療機関での予約のあり方、V・S・Y・S入力についてもニュースタンドードとして対応しうる体制を整えていきたいと思っております。

医師の働き方改革について

コロナ禍において拙速な議論にならないよう
丁寧に現場の声と向き合い進めていく

羽生田

コロナ禍にあり、なかなか議論が全国の実態把握は点検頂きたいと考えています。

働く側の意見も踏まえ、早くに自院での実態把握は点検頂きたいと考えています。

田村厚生労働大臣

まさに実態把握は重要であります。新しい仕組みで言えば、医師の時間外労働の上限水準にいくつか類型があり、A「全ての医師が960時間を超えない」地域医療確保暫定特例水準としてB「地域医療確保のために自院で960時間を超える医師がいる」連携B「自院では超えないが他院へ派遣される事により960時間を超える医師がいる」集中的技能向上水準としてC「臨床研修医・専攻医で研修プログラムに沿って基礎的な技能や能力を習得するために960時間を超えるものがある」C-2「臨床従事6年



厚生労働大臣
田村 憲久 衆議院議員

テーマ
2